坂井地区広域連合
Life care
さかい広域
Vol.63
2022.3.31

（介護の仕事出前講座）

☆２月２日、坂井市立丸岡南中学校の１年生を対象に出前講座「介護のこと！知ってみよう」を行いました。受講した生徒から、介護の仕事がよく分かった、将来は人を助けたいと思った、など感想をいただきました。

Content

きらり介護びと……2～3
令和４年度各会計当初予算……4
第72回広域連合議会定例会一般質問……5
フレイルサポーター交流会を開催しました……6
小さなお葬式・代官山斎苑墓地……7
広域連合NEWS……8

きらり介護びと②

生活相談員
松ヶ平（まつがひら）しずかさん

第一線で活躍する介護のお仕事をしているお二人にインタビュー

今回は、特別養護老人ホーム　ガーデンハイツ春江に勤務する生活相談員の松ヶ平しずかさんと介護士の齋藤聖人さんを紹介します。介護のお仕事はどのようなものか、将来の夢や目標、介護の仕事を目指している人へのメッセージを聞きました。

普段どのような仕事をされていますか？

生活相談員として利用者の方やそのご家族の相談窓口となり、施設を快適に利用してもらえるようにしたり、不安を取り除いたりしています。

介護の仕事を始めたきっかけは？

母が介護の仕事をしていたことと、中学生のころに職場体験で福祉施設へ行き、介護の仕事をやってみたいと思いました。

特に大変だと思うことは？

コロナ禍で、利用者のご家族の方の施設訪問をやむを得ず制限し、施設での生活の様子を実際に見ていただけず、口頭でしかお伝えできないことです。ご家族のみなさまが少しでも安心してもらうために、生活の様子が伝わるような動画や写真、ブログなど工夫しながらお伝えしていきたいです。

仕事の中で大切にしていることは？

笑顔とポジティブな言葉掛けを大切にしています。これまで多くの経験をされてきた利用者の方、おひとりおひとりの尊厳を大切にしています。

やりがいを感じる瞬間は？

利用者の方やご家族の方から、「ガーデンハイツ春江に来てよかった。表情が明るくなった。元気になった。」とお言葉を頂いたときです。日々、利用者の方にとって〝よりその方らしい生活〟を考え、実践しているのですが、感謝の言葉を頂いたときに自分のやっていることが認めてもらったと実感できます。

将来の夢や目標は？

利用者の皆さんが、住みなれた地域で、最期まで安心して楽しく過ごせていただけるような施設を目指しています。

介護の仕事を目指している人へのメッセージ

利用者の方の言葉や笑顔で心があったかくなる素敵な仕事です。大変なこともチームで乗り越えていけます。自分らしさを生かして、ぜひ介護の仕事で輝く自分を見つけていきましょう。

介護士
さいとうまさと
齋藤聖人さん

普段どのような仕事をされていますか？

利用者の方の身体と心に寄り添いながら、充実した生活のお手伝いをさせていただいています。

介護の仕事を始めたきっかけは？

人の役に立ちたいと考え、直接手を差し伸べることが出来る仕事を探したときに、「福祉系」の仕事に興味を持ちました。

特に大変だと思うことは？

私たちは自立支援介護を通して、認知症の方に対して毎日ケアを行っています。認知症には決まった行動パターンはなく、その方の性格や持病、その日の気分などで行動や症状が変わっていきます。確立された対処法もなく、毎日のケアの中で一人ひとりに合わせた寄り添ったケアをしなければなりません。上手くいかない日もあり、常に考えながらケアを行うことが大変だと感じます。

仕事の中で大切にしていることは？

礼儀を大切にしています。人とかかわることが多い仕事なので、相手に対し礼儀を重んじています。礼儀を大事にすることで、自分の想いが伝わったり信頼関係が築きやすくなったりします。

やりがいを感じる瞬間は？

運動や食事、排せつ等今まで自分でできなかったことが自立支援介護によって、少しでもできるようになり利用者の方から「ありがとう。」と笑顔で言われたときです。

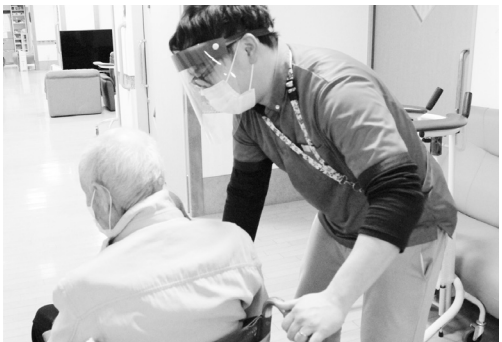
また、おむつを使用していた方が、おむつなしで排せつが行えるようになったり、経口から食事がとれなかった方が、常食を食べられるようになったり、立てなかった人が訓練によって歩けるようになったり、寝たきりで幻覚、幻聴があった方が自立支援介護によって起きられるようになり、食事が食べられるようになり、在宅復帰を果たせた瞬間は一番やりがいと達成感を感じます。

将来の夢や目標は？

一人でも多くの利用者の方が、施設を利用することで充実した生活が送れるようになり、今よりもっと元気に過ごしていただけるような、施設を目指したいと思います。皆に愛される施設になれるように頑張ります。

介護の仕事を目指している人へのメッセージ

介護というお仕事は今後も世界から注目され重要視される職業だと思います。人に元気を与える、人の人生を豊かにすることが出来る仕事として、やりがいもあり誇りを持てる仕事だと思いますので、一緒に頑張りましょう。



ＦＪメディケアグループ
特別養護老人ホーム
ガーデンハイツ春江

住所：坂井市春江町針原 48-28-1
入所定員：87 名
（うち短期入所 12 名）
通所定員：45 名
通所営業時間：月曜日～土曜日
9：00 ～ 16：00
※祝日も営業中

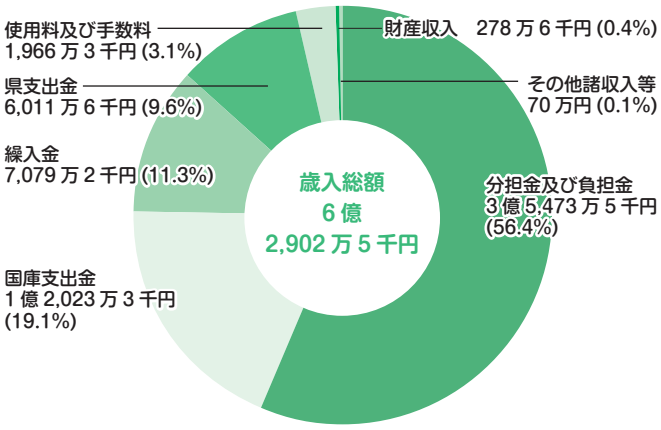
≪福祉と医療の連携を図り、個人の尊厳と喜びを重視し、地域の方々に信頼され、親しまれる施設を目指す。≫

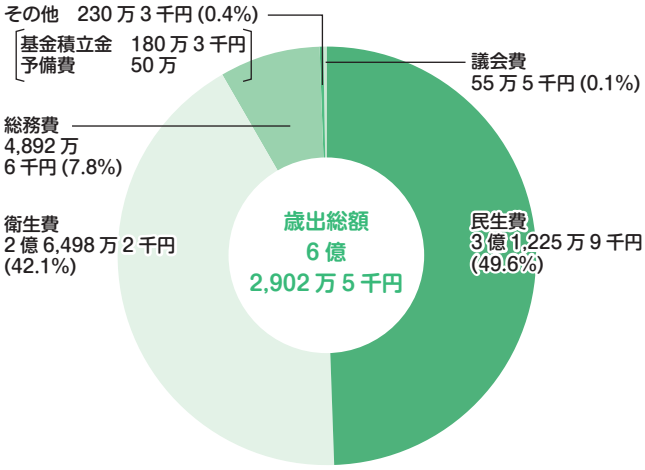
令和４年度 当初予算

坂井地区広域連合の令和４年度予算の概要をお知らせします。※比率は原則小数点第２位以下を四捨五入しています。

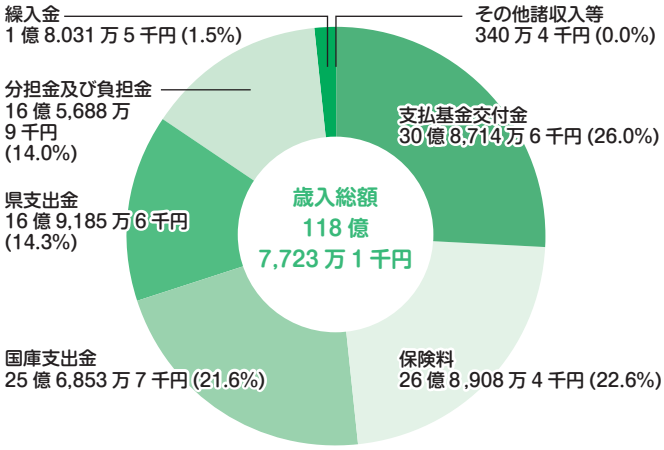
予算総額　125 億 857 万 9 千円

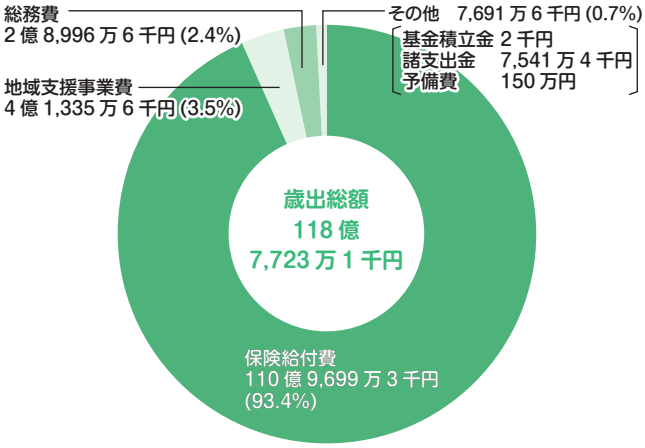
一般会計　総額 6 億 2,902 万 5 千円



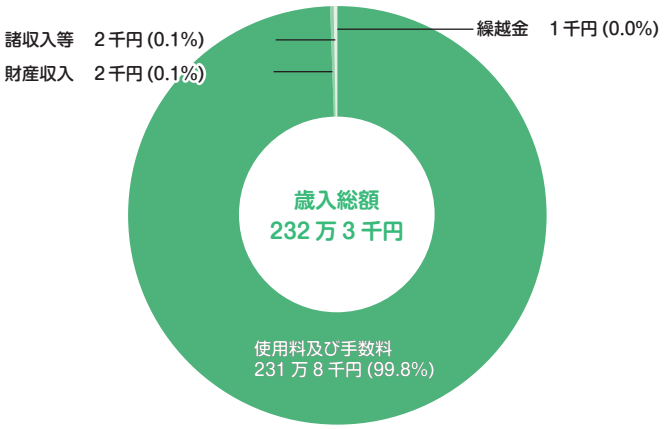


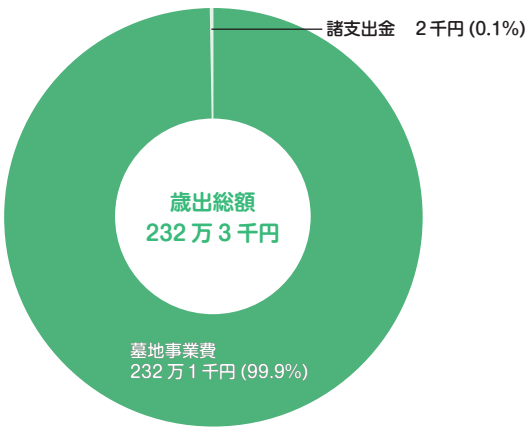
介護保険特別会計　総額 118 億 7,723 万 1 千円





代官山墓地特別会計　総額 232 万 3 千円





第７２回 広域連合議会定例会

第 72 回広域連合議会定例会が３月 18 日（金）に開催されました。今回は、６議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。また、次の一般質問が行われました。

上程議案

- 令和３年度坂井地区広域連合介護保険特別会計補正予算（第２号）
- 令和４年度坂井地区広域連合一般会計予算
- 令和４年度坂井地区広域連合介護保険特別会計予算
- 令和４年度坂井地区広域連合代官山墓地特別会計予算
- 坂井地区広域連合個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定について
- 坂井地区広域連合広域計画の変更について

一般質問

室谷　陽一郎議員

在宅ケア支援体制の充実を。

Q1　医療ニーズの高い高齢者への支援体制について、具体的にはどのように進めているのか。

A1　坂井地区医師会を中心に多職種連携を核とした、在宅ケア体制を構築してきております。また坂井地区医師会内の坂井地区在宅ケアネットに在宅医療コーディネーターを設置しており、在宅医療に必要な医療・介護につなぐ体制は整っていると考えております。

Q2　介護者の負担軽減や、緊急時のための患者受け入れ先の確保をどのように努めているか。

A2　介護負担軽減については、地域支援事業介護支援事業があります。高齢者を介護している家族に対し、介護知識、技術の習得や介護サービスの適切な利用方法を内容とした講習会や交流を開催し、介護者の精神的負担の軽減を図っております。

また緊急時のための患者の受け入れ先については、在宅医療コーディネーターが県内の基幹病院と坂井地区内の病院との連携強化を行っております。

Q3　定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを今後どのように考えているのか。

A3　坂井地区は、一戸建て住宅が多く、また住宅が点在する等の住宅事情や、介護人材不足の現状を勘案しますと、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を在宅の要介護者を支えるサービスとして、短期的に普及・推進していくことは、現時点では非常に難しいことだと認識しておりますが、２０４０年を見据え坂井地区における地域で支える介護サービスの在り方を検討してまいります。

代官山斎苑で小さなお葬式ができます

～家族や親しい友人で温かく見送る新しいお葬式の形～

代官山斎苑を小さなお葬式（家族葬など）や直葬の会場として、利用できます。

◀待合室　洋室
お通夜や葬儀を行えます。

待合室　和室▶
お通夜の宿泊や収骨を待つ間の食事の場として利用できます。また、法要などにも利用できます。

お通夜とご葬儀に待合室を利用した場合（洋室２室を利用）

式場使用料	火葬炉使用料	棺・納棺料等	祭壇料	遺体搬送料	夜間警備料	合計（税抜）
48,000 円	10,000 円	74,000 円	30,000 円	15,000 円	15,000 円	192,000 円

直葬の場合（洋室の１室を霊安室として一晩利用）

式場使用料	火葬炉使用料	棺・納棺料等	遺体搬送料	合計（税抜）
2,000 円	10,000 円	67,000 円	15,000 円	94,000 円

○上記金額は最低価格を表示しています。なお、式の内容により料金が変わる場合があります。
○上記金額には僧侶や食事および寝具などの料金は含まれていません。
○料金や式の内容などの詳しいことはお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先　代官山斎苑 ☎ 0776 － 81 － 9777

代官山墓地の使用者を募集します

●代官山墓地とは

坂井市三国町池上に緑で囲まれた静かで素敵な場所で、車通りも少なく、区画と区画の間も十分なスペースがあり、快適な墓地公園です。

●使用許可の要件

1　あわら市、坂井市に住民登録があり、住んでいる人
2　あわら市、坂井市に本籍または墓地のある人

●申請に必要な書類

・本籍入りの住民票抄本　使用料等（後日納付可）

●使用料と維持費

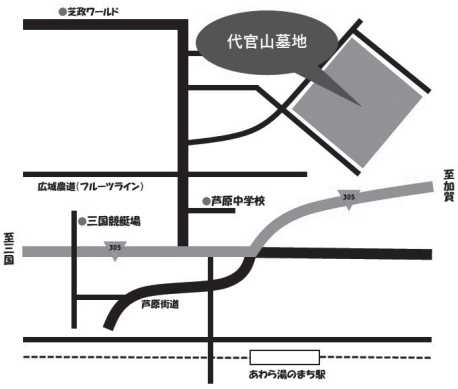
令和４年３月１日現在

区画区分	使用料	維持費	残区画数
3.0㎡（1.5ｍ×２ｍ）	136,000 円	28,000 円	７区画
4.0㎡（２ｍ×２ｍ）	172,000 円	31,000 円	39 区画
6.0㎡（２ｍ×３ｍ）	228,000 円	37,000 円	54 区画

○使用許可の要件２に該当する人は、この使用料、維持費が上記の２割増となります。
○使用料は、永代使用料です。
○維持費については、永代ではありません。条例などの変更により納めていただくことがあります。

●使用許可証の確認

墓地の使用者や住所などに変更があるとき、墓地の使用許可証を紛失したときは、届け出が必要となります。詳しくは、坂井地区広域連合へお問い合わせください。



問い合わせ先　総務課 ☎ 0776 － 91 － 3307

空いている墓地のご案内や現地でのご案内等いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

フレイル通信

前回Ｖｏｌ62、フレイルとは、「健康な状態」と「介護が必要となる状態」の中間の状態で、フレイル予防のポイントは、「栄養」「運動」「社会参加」の３つをバランスよく実践することであり、特に「社会参加」が重要であるとお伝えしました。

下の図のとおり、「社会とのつながり」が少なくなると、生活範囲が狭まるため、気持ちが落ち込んだり、活動量が低下して食事が少なくなったりと、ドミノ倒しのようにこころと身体の健康に影響を及ぼすとされています。

現在、東京大学は、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を自粛する機会が少ないため、知らないうちに「フレイル」の状態に近づいている高齢者がたくさんいるのではないかと、警鐘を鳴らしています。

出典：東京大学高齢社会総合研究機構

「おうちえ」でフレイル予防♪

坂井地区にお住いの高齢者の皆さんも、コロナ禍で外出の機会が減った一方で、おうち時間が増えたことかと思います。そこで、おうち時間を有効活用し、楽しく健康に過ごす知恵として、東京大学が発信している「おうちえ」にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

「おうちえ」とは、高齢者の方に役立つ情報を集めた知恵袋で、からだ・くらし・きずな・こころについて、チャレンジしてみたくなることや楽しい工夫・アイデアをまとめたものです。フレイル予防のために、ご家族やご友人、ご近所の方と一度取り組んでみてはいかがでしょうか。

おうち時間を楽しく健康にすごす知恵「おうちえ」

IOGトップページより
おうちえのニュースをご覧ください
http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/

▲ QR コード読み込み

さかいクリーンセンターからのお知らせ

汲み取り式トイレなどの清掃業者が変わります

令和４年度から、汲み取り式トイレや浄化槽の清掃業者の一部が変更になりました。予約を行う際は、左記の新業者へご連絡ください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

変更日　４月１日（金）
変更地域　坂井市坂井町
新業者　福井環境事業株式会社
☎３６－４４６３

※これまで有限会社坂井公益社が担当していた地域は、新業者が引き続き業務を行います。

汲み取り式トイレをご使用の方へ

トイレから汲み取ったし尿の中に布や衛生用品などの異物が多く混入しています。こうした異物は、処理施設の配管の詰まりや機器等の故障の原因になり、施設の稼働を停止させる恐れがあります。施設が停止するとし尿等の受け入れができなくなるため、トイレにはトイレットペーパー以外のものは捨てないようご協力をお願いいたします。

問い合わせ先
総務課　環境衛生係　☎９１－３３０８

フレイルサポーター交流会を開催しました

令和４年３月 11 日、坂井地区広域連合庁舎でフレイルサポーターの交流会を開催し、スタッフを含めた 17 名が参加しました。ゆび体操やチーム対抗すごろくのレクリエーションで大変盛り上がりました。最後にフレイルトレーナーを卒業する方にみんなで寄せ書きを作成しお渡ししました。有志のサポーターで準備を行い、楽しく交流ができ、大成功でした。今回レクリエーションで行った「ゆび体操」と「チーム対抗すごろく」をご紹介します。

ゆび体操

認知症予防に効果的とされている「ゆび体操」に詳しいフレイルサポーターが講師となり、参加したサポーター全員でゆび体操をしている様子です。「グー・チョキ・パー」を使った簡単なものから、数字を使った複雑なものまで、頭をフル回転させながら取り組みました。

◀「ボッチャ」をイメージしたサイコロ

チーム対抗すごろく

パラリンピックでも採用された「ボッチャ」をイメージし、的に新聞紙の玉を転がして進めるマスの数を決めました。また、すごろくマップのメニューには、「片足立ち１分」や「フレイル予防の３本柱を答える」など、フレイル予防のためものが用意されており、チーム全員で頭と体を使いながら楽しく競い合いました。

編集後記

子どもの成長は早いもので１歳半になりました。色々なことに興味を持ち、触ったり口に入れたりして、本当に楽しそうに過ごしています。自分も子どもを見習い、無駄に時間を消費するのではなく、積極的に活動していきたいです。コロナウイルス感染症拡大の影響で思うように活動することが難しいですが、皆さんも楽しい日々をお送りください。（Ｄｅ）

編集・発行　坂井地区広域連合　〒919-0526 福井県坂井市坂井町上兵庫 40-15　TEL.0776-72-3305　FAX.0776-72-3306
http://www.kouiki.sakai.fukui.jp